

あわらし郷土歴史資料館だより

Vol.1

一年を振り返って

郷土歴史資料館長 能美 進

平成25年7月7日、金津本陣 IKOSSA の2階に郷土歴史資料館は開館しました。この資料館は「ふるさとの再発見と歴史・文化の継承」のもと「本陣飾り物ギャラリー」「見どころゾーン」「まちの伝統文化ゾーン」「ふるさと歴史ゾーン」「特別展示室」等から成り立っています。「特別展示室」には、国指定重要文化財「桑野遺跡出土石器・石製品」を展示しています。また、「本陣飾り物ギャラリー」には、各地区が金津祭のために日用品等を使って作成した作り物の中から優秀作品7点を展示しています。

今年度からはいくつかのイベントを行いました。まず展示関係としては企画展を開催しました。今年度は夏季企画展示「あわらし市のやきもの～先祖の生活を知る手がかり～」、秋季企画展「樋山地区で発掘された製塩遺跡～北潟湖周縁の歴史と生業～」の2本を開催し、また冬季企画展「北陸最大級の横山古墳群～神奈備山古墳とその系譜～」を開催予定としており、地域の歴史・文化を市民の皆様にご覧いただく一助になったことかと思えます。企画展はこれからも毎年2～3本ぐらい開催していく予定です。ほかのイベントとしては講演会

講座を開催しました。講演会では企画展に関連した内容で、参加者は企画展の理解を深めてもらいました。講座では市の文化財保護委員の先生方を中心に講師をお願いし地元や身近な文化財に目が向いてもらえるような「ふるさと講座」を開催しました。夏休みには体験講座として「勾玉作り体験」を整理室で行い、子供たちが一生懸命石を磨きこんで素敵な勾玉を作り上げていました。今後も企画展や講演会等を継続して行っていく予定です。今年は初めてということもあり PR 不足していました。これからは積極的に PR をしていくつもりです。

このように郷土歴史資料館は地域の歴史文化を知っていただく場として、大勢の皆様にご利用していただけるよう活動をしてまいりますので、ご協力の程よろしくお願ひします。



郷土歴史資料館がある金津本陣 IKOSSA (正面)

【北潟湖周縁の先史遺跡】展示縄文資料の語るもの

「26年度秋季企画展」の一隅に、【北潟湖周縁の先史遺跡】と銘打つ展示箇所を設けた。仰々北潟湖は、加越台地が河川による開析を受け形成された谷底平野内に浸水し成立する。湖の西縁には、嘗て“矢ノ根石”（石鏃）が「此あたりより浜坂浦に至、時々拾ひ得る事あり」（『越前国名蹟考』、「濱坂村の山上ニハ石鏃多キコト」（『東京人類學會雑誌』55）と記録された如く、処々に先人の足跡が見い出せる。然り乍ら、それらの実情は判然としない憾みもまた多く残存する。

今回「北潟湖周辺」として展示の「縄文土器25点」は、嘗て「故・地石 新作氏」が収集「地石 正義氏」寄贈、現在は「福井県立歴史博物館」に所蔵されている。資料に『福井県遺跡地図』掲載「09027 知原遺跡」「遺跡概況 貝塚」が含まれ、その由来を『芦原町史』の記載に依拠すれば、「北潟湖の南岸沿い」の「丘陵が湖岸の水田地帯に接する」位置にあり、「大正七、八年ごろの耕地整理」の折露頭し残存したのを、氏が「昭和三十七、八年ごろに探して採集」と云う。

然るに、「昭和四十五年六月」に同地を踏査しても、何ら確認されなかったようで、実態は浜坂同様不鮮明であるが、採集土器は凡そ「縄文時代中期にぞくする」と理解、加越台地南縁に所在する井江葎・舟津の両貝塚と帰属する時期を共有するように認識されていた。

従来から、舟津貝塚資料中に「縄文がすり消さ



縄文時代後期中葉 注口土器資料

「左 知原遺跡」「右 吉崎音部遺跡」

れたりしたもの（すり消し縄文）」が混在、「ごくわずかではあるが・・・後期にくだるものも含まれている」ことも留意されていた。今回「北潟湖周辺」として展示した資料の中には、僅かながらも縄文時代中期のみならず、その帰属時期が後期中葉にまで下降する土器片が含まれている。

『芦原町史』に写真が掲載された知原貝塚資料中の注口土器肩部片は、「東日本」取分け関東地方にその分布の核域を保持する“加曾利B式”に比定され、東日本縄文土器文化の影響が当地に伸張していた事実を裏付ける。こうした儀礼を専らに掌ることが想定される器種のみが貫入的に侵入、生業と密接に関係する深鉢器形など、その用途を違える土器は東海・西日本の土器文化の影響下にあつて、その分布圏が異なるのは当該期に「土器型式」の系統が輻輳する様を表象する。

将又、吉崎音部遺跡には知原遺跡“加曾利B式”同類の注口片と共に、西日本域に広く拡散する“一乗寺・元住吉山式”系と看做される資料も併せて出土している。この二者が、若干時期を前後しながらも同一領域に出現してくるのは、東西土器文化の交流と、東から西へと次第に地域的傾斜を示す先駆的現象の現れであろう。

予々、福井市片粕・曾万布両遺跡に見られた“加曾利B式”の範疇と目される浅鉢の存在が東日本土器文化の侵入的影響と斟酌されていたが、近年の“縄文土器系統論”研究の進展も相俟って、錯綜しながらも複合的視点に立ち至らざるを得なくなるのが極めて興味深い。

加えて、日本海沿岸に於ける縄文後期貝塚の立地にも若干の疑義が生じる。嘗て、吉崎音部遺跡至近の「谷底に貝を見た」と云う地元識者の証言をも勘案すれば、中・後期に帰属する日本海側貝塚の立地条件及び形成要件に敷衍、知原・吉崎音部両遺跡に縄文後期中葉の注口土器資料が共有されるのは極めて蓋然性が高い。

（文化財調査専門員 木下 哲夫）

平成26年度 企画展示事業報告

夏季企画展示

「あわら市のやきもの

～先祖の生活を知る手がかり～

会 期：7月1日（火）～8月31日（日）

会 場：一般展示室 企画展示ゾーン

夏季企画展示

あわら市のやきもの

「先祖の生活を知る手がかり」

あわら市は「こぎを焼くでも塩硝が出る」と言われほど古くから歴史があります。そのよう地域で育ってきた先祖様たちの生活を、出土したやきもののでいってみましょう。



あわら市郷土歴史資料館
2014年7月1日(火)～8月31日(日)

【開館時間】午前9時30分～午後5時
(最終入館は午後4時30分まで)

【休館日】毎週月曜日・毎月第1休曜日
(これらの日が祝日の場合はその翌日)

【入館料】無料

【主催】あわら市教育委員会

【関連イベント】
講演会 土器・陶器の世界
容器は語る
～土・器の芸術～
【内 容】あわら市出土のやきものについて中世のものを中心にお話ししていきます
【講 師】福井工業高等専門学校教授 磯原 寛一 先生
【日 時】平成26年8月21日(日) 13時30分～
【場 所】市民文化研修センター 大ホール
【参 加】自由(事前申込不要)

【注 意】無料

あわら市郷土歴史資料館
〒919-0632 あわら市春宮2-14-1 金津本陣IKOSSA2階
TEL:0776-73-5158 FAX:0776-73-1038
e-mail:maibun@city.awara.lg.jp



冬季企画展（予告）

「北陸最大級の横山古墳群

- 神奈備山古墳とその系譜 -

会 期：1月14日（水）～3月22日（日）

会 場：一般展示室 企画展示ゾーン

内 容：「横山古墳群」は、300余基の古墳総数はもとより、その中に前方後円墳が多く含まれることで研究者の注目を集めています。実態は世間の人々にあまり知られていません。そこで今回「横山古墳群」の中で数少ない発掘調査が行われ、且つ越前嶺北地方最後の大首長墓である神奈備山古墳の出土品を中心に、その系譜に迫ります。

秋季企画展

「樋山地区で発掘された製塩遺跡

- 北潟湖周縁の歴史と生業 -

会 期：9月9日（火）～12月23日（祝）

会 場：一般展示室 企画展示ゾーン

秋季企画展

【発掘速報展】

樋山地区で発掘された製塩遺跡

- 北潟湖周縁の歴史と生業 -



あわら市郷土歴史資料館
2014年9月9日(火)～12月23日(祝)

【開館時間】午前9時30分～午後5時
(最終入館は午後4時30分まで)

【休館日】毎週月曜日・毎月第1休曜日
(これらの日が祝日の場合はその翌日)

【入館料】無料

【主催】あわら市教育委員会
あわら市郷土歴史資料館
福井県立歴史博物館
福井県立歴史博物館
永平寺町教育委員会

【関連イベント】
講演会 古代の塩と人
【内 容】古の塩について、樋山遺跡の発掘をめぐってお話しします
【講 師】福井県立歴史博物館 樋山遺跡発掘調査員 磯原 寛一 先生
【日 時】平成26年11月19日(土) 13時30分～
【場 所】市民文化研修センター 研修室
【参 加】自由(事前申込不要)

【注 意】無料

あわら市郷土歴史資料館
〒919-0632 あわら市春宮2-14-1 金津本陣IKOSSA2階
TEL:0776-73-5158 FAX:0776-73-1038
e-mail:maibun@city.awara.lg.jp



横山古墳群航空写真
(福井県教育委員会提供)



中川65号墳出土
円筒形埴輪
(福井県立歴史博物館所蔵)
展示期間1月14日～2月15日

神奈備山古墳出土
子持ちはそう
(福井県教育委員会所蔵)

神奈備山古墳出土
金属製馬具片
(福井県教育委員会所蔵)

北陸最大級の横山古墳群

「神奈備山古墳とその系譜」

「横山古墳群」は、300余基の古墳総数はもとより、前方後円墳が多く含まれることで注目されています。その中の数少ない発掘調査例であり、かつ越前最後の大首長墓である神奈備山古墳の出土品を中心に、その系譜に迫ります。

1月14日（水）～3月22日（日）


【主 催】あわら市教育委員会
【協 力】福井県立歴史博物館
福井県立歴史博物館
永平寺町教育委員会

あわら市郷土歴史資料館
〒919-0632 あわら市春宮2-14-1 金津本陣IKOSSA2階
TEL:0776-73-5158 FAX:0776-73-1038
e-mail:maibun@city.awara.lg.jp

【開館時間】午前9時30分～午後6時
(最終入館は午後5時30分まで)

【休館日】毎週月曜日・毎月第1休曜日
(これらの日が祝日の場合はその翌日)

【入館料】無料



郷土歴史資料館イベント報告

【講演会】

土器・陶器・磁器の世界

器は語る

～人・土・炎の芸術～

講師：荻野 繁春氏

(福井工業高等専門学校嘱託教授)

日時：8月24日(日)13時30分～15時

場所：市民文化研修センター 大ホール

(夏季企画展示関連イベント)

古代の塩と人

講師：鈴木 篤英氏

(福井県埋蔵文化財調査センター)

日時：11月29日(土)13時30分～15時

場所：市民文化研修センター 研修室1

(秋季企画展示関連イベント)

ふるさとの古墳(予定)

講師：水野 和雄氏

(福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館前館長)

日時：1月25日(日)13時30分～15時

場所：市民文化研修センター 大ホール

(秋季企画展示関連イベント)

【講座】

第1回ふるさと講座

あわら市の文化財

(その1 建造物)

講師：吉田 純一氏 (市文化財保護委員長)

日時：7月27日(日)13時30分～14時30分

第2回ふるさと講座

あわら市の文化財

(その2 重要文化財 桑野遺跡出土品)

講師：木下 哲夫(当館文化財調査専門員)

日時：9月13日(土)13時30分～14時30分

第3回ふるさと講座

玉作～伊井遺跡出土未成品から

講師：浅野 良治氏

(永平寺町教育委員会 学芸員)

日時：10月11日(土)13時30分～14時30分

第4回ふるさと講座

金津奉行 平本良充と北湯

講師：関 章人氏(市文化財保護委員)

日時：12月13日(土)13時30分～14時30分

第5回ふるさと講座(予定)

あわら市の文化財

(その3 史跡・櫛古墳・横穴式石室)

講師：橋本 幸久(当館 館長補佐)

日時：2月14日(土)13時30分～14時30分

第6回ふるさと講座(予定)

宿場あれこれ一金津宿から細呂木宿へ

講師：由水 勇(市文化財保護委員)

日時：3月14日(土)13時30分～14時30分

【体験】

勾玉作り体験

日時：8月3日(日)13時30分～15時

場所：郷土歴史資料館整理室

料金：250円

利用案内

開館時間：9時30分～18時

休館日：毎週月曜日・毎月第4木曜日

(これらの日が祝日の場合はその翌日)

交通：JR 芦原温泉駅より 徒歩15分

北陸自動車道金津ICより 車15分

駐車場：普通車46台・身障者用2台、軽自動車1台

■あわら市郷土歴史資料館だより Vol.1■

平成27年1月1日発行

編集・発行 あわら市郷土歴史資料館

住所：〒919-0632 あわら市春宮2-14-1

電話：0776-73-5158 FAX：0776-73-1038

e-mail: maibun@city.awara.lg.jp

URL: <http://www.city.awara.lg.jp/mokuteki/education>

/kyoudo/index.html